

【テーマ3】

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	1 1 8 1 4 1 0
園名	光塩幼稚園

1. 活動のテーマ

＜テーマ＞

「世界にひとつだけの色」「色の足し算」色（三原色から広がる色の不思議）

＜テーマの設定理由＞

- 水遊びは、子どもたちにとって、興味・関心がもてる活動である。
- お誕生日会での先生による寸劇「ジュースやさん」を行った。その際、ペットボトルに入った透明の水をシェイクすることにより、赤・青・黄のジュースと化したり、赤・青・黄と白を色々混ぜ合わせるにより出来上がる新色と化したりすることから、「なぜ?」「どうして?」と疑問が広がっていく。
- 視覚化することにより、知らず知らずのうちに、色の三原色から広がる色の不思議を認識することができる。このことから、絵を描いたり、絵の具を使ったりする製作にも色の使い方が広がっていく。

2. 活動スケジュール

(1) 実施時期・回数

- ①実施時期 令和6年9月～10月
- ②実施回数 4回

(2) 活動スケジュール

- ①先生によるお誕生日会の寸劇「ジュースやさん」から「どうして透明の水が赤・青・黄を混ぜるといろいろな色に変わるんだろう。」という疑問をもつ。
- ②自分の問いを解決するために、図書室「えほんのもり」で、絵本や図鑑を読み自分なりに理解をしたり、司書が選書した「色」に関連する絵本の読みきかせを行ったりする。
- ③色水遊びをしたり、一人で色の混ぜ合わせをしたりする。その後、個から二人組となり、自分の混ぜ合わせた色に染まった手と手を合わせて、新色を創っていく。
- ④個・二人組での体験からクラス全体で共有する。「世界にひとつだけの色」と題し、自分たちで考えた新色の名前とどうしてその名前になったかの発表をする。

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

(1) 環境設定 子どもが「なぜ?」「どうして?」と気づく先生による劇化

月一回実施されるお誕生日会の先生の出し物は、季節・行事・子どもたちの興味・関心等を考え、先生による出し物をプレゼントする。そのなかで、9月は、色水遊びの広がりテーマとして行うこととした。

(2) 活動の様子

①劇化⇒問いかけ⇔読書⇔体験⇔発表という活動の流れで行った。子どもたちは、先生による寸劇から、「なぜ?」「どうして?」が生まれた。その後、先生のマジックを自分たちも体験をし、三原色への興味・関心が高まった。

②自分たちが、三原色に白を混ぜ合わせ創り上げた新色は、できあがった時の笑顔がとても印象的だった。

③「世界に一つだけの色」の発表の際も、「〇〇色です。なぜならば…です。」と、先生が指示をしなくても、日常の発表の学びを取り入れながら発表する様子が見られた。



それでは、色の足し算をしますよ。楽しみですね。

お友だちと素敵な色をつくってね。

どんな色ができるのかな～！楽しみ！楽しみ！

世界にひとつしかない色がたくさんできましたね。すてき！

世界にひとつだけの色ができたね。何色にしようか。

ぶどうジュースおいしいいろにしない？

私たちは、ももにクリームをのつけた、
クリームの形はリボン色にしよう！



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

○先生からの投げかけが、子どもたちの知的好奇心にふれ、色の三原色について、広め、深めることができた。

○「人に伝えたい!」と思うと、伝え方を考えて発表しようと思う意欲を持続していける保育を行うことを再認識できた。